

実践事例「おすすめ本紹介冊子『Weラ Book』」

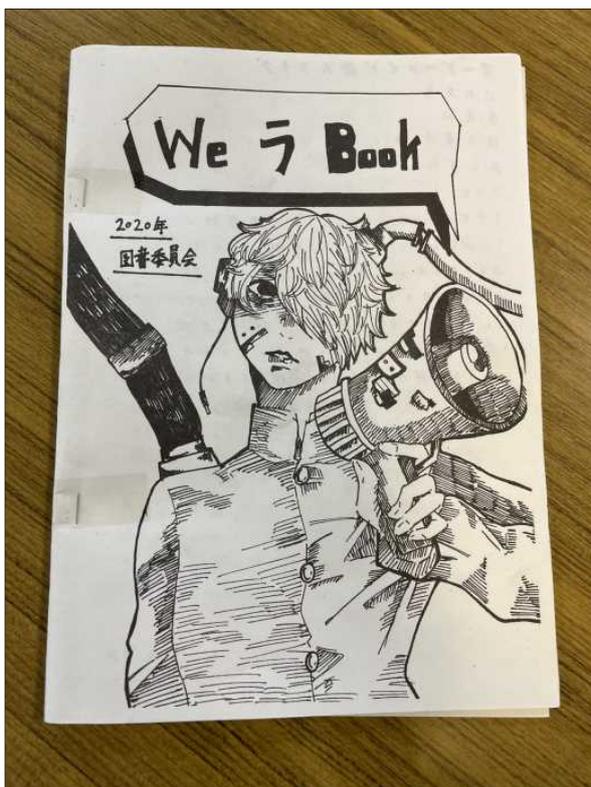
<参考> 学校図書館活用の取組

(東京都立晴海総合高等学校)

「Weラ Book」は、本校の図書館の蔵書から、全年次の図書委員がおすすめする図書をまとめた冊子です。タイトルには"We love books!"のコンセプトが取り入れられています。

年に一回、図書委員会が発行し、文化祭や古本市などのイベントで掲示・配布しています。古本市とは、生徒や先生から不要になった本を集め、校内のオープンスペースに並べて欲しい方に渡すイベントで、図書委員会の活動として年1回、2日間程度実施しています。

また、この冊子に掲載した図書を集めた特設コーナーを図書館内に設置し、生徒の作った図書のポップと一緒に展示しています。



「Weラ Book」冊子



図書委員のおすすめ図書コーナー



冊子中の図書紹介文

取組の狙い	・図書館にある本をより多くの人に手に取ってもらうため
工夫や留意点	・図書委員42名の選ぶ図書が重ならないようにしている
取組の成果	・文化祭や古本市に来てくれた人に、新しい図書と出会うきっかけを与えることができた
課題等	・読書に関心のない人にも「WeラBook」を手に取ってもらえるような工夫を重ねること

■ <参考> 学校図書館活用の取組

本校の図書館内には、洋書の多読コーナー、教員のおすすめ図書コーナー、課題研究のテーマに関連する図書コーナーを設置しており、授業でも活用しています。

多読用の洋書については、外国語科の先生が選書したものを図書館内に置いています。主に読者の語学レベル（グレード）別に分かれた英語の多読用シリーズが中心です。選択科目「リーディング」では、そこから好きな本を選んで各自で読むという活動も取り入れています。

また、本校の特色として、1年次に「産業社会と人間」、2年次に「プレ課題研究」、3年次に「課題研究」といった授業が設置されており、学校図書館の資料を活用しています。2年次の「プレ課題研究」では、学校図書館や本の探し方についてのオリエンテーションを全員に行っています。各生徒が決めた課題研究のテーマを、選書にも反映させています。

そのほか、選択科目「国際関係」「地域研究」など、調べものが必要になる授業において、学校図書館の活用を図っています。